

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2022年3月11日
【四半期会計期間】	第37期第2四半期（自 2021年7月1日 至 2021年9月30日）
【会社名】	エレコム株式会社
【英訳名】	ELECOM CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 柴田 幸生
【本店の所在の場所】	大阪市中央区伏見町四丁目1番1号
【電話番号】	(06) 6229-1418
【事務連絡者氏名】	常務取締役 田中 昌樹
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区伏見町四丁目1番1号
【電話番号】	(06) 6229-2707
【事務連絡者氏名】	常務取締役 田中 昌樹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2021年11月9日に提出いたしました第37期第2四半期（自 2021年7月1日 至 2021年9月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(4) 発行済株式総数、資本金等の推移

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

(訂正前)

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減額 (百万円)	資本準備金残高 (百万円)
2021年7月1日～ 2021年9月30日	-	92,221,420	-	12,577	-	12,548

(訂正後)

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減額 (百万円)	資本準備金残高 (百万円)
2021年7月1日～ 2021年9月30日	-	92,221,420	-	12,577	-	12,548

(注) 当社は2021年7月16日付の取締役会において、2019年9月17日付の取締役会で決議した第5回及び第6回新株予約権の資金用途の変更について決議いたしました。

1. 資金用途の変更を行う理由・背景

当社は、更なる事業価値拡大のため、M & A及び資本業務提携に関わる費用及び研修施設の建設資金を目的に新株予約権の発行により資金を調達致しました。

これまで、グループ会社と横断的にナレッジを共有することで、既存事業の更なる強化を図ってまいりました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大以降、研修の在り方が大きく変化し、WEBでのミーティングや情報共有が一般化したことに伴い、研修施設保有による効果を最大限発揮しにくい環境にあります。こうした外部環境の変化から、研修施設の新設については、新型コロナウイルスの感染拡大が収束して以降、再検討すべきと判断致しました。

資金用途の再検討を進める中で、弊社として最優先で対応すべき課題は物流機能の強化と捉え、以下の理由から新たに賃借いたします物流センターの移転にかかる機械装置の購入及び設置費用に資金用途を変更することと判断致しました。

大阪市淀川区に構える大阪物流センターは、売上の増加に伴う配送量の増加により処理能力の問題や台風時における高潮のリスクをはらんだエリアであることからBCP上の課題がございました。

新たな関西物流センター（以下、新物流センター）はこれらの課題を解決すべく、BCP、労働力不足改善配送の効率化の3点から、弊社の成長に寄与するものと考えております。

新物流センターは兵庫県の南東部に位置し、新名神高速道路路西ICから2kmと近く物流拠点として好立地にあり、災害リスクが低く、建物が耐震構造であることからBCPの観点において適しております。加えて、省人化率70%を目指して機械化をすすめることにより、徹底した効率化とリードタイムの短縮、今後増大することが見込まれる商品数増加への対応を強化して参ります。

また、ECを含む小口配送への需要が高まってきており、顧客直送が対応可能な小口配送のインフラとしての機能を加えることで、より付加価値の高いサービスをお客様に提供することが可能となります。
 以上のことから、新物流センターは弊社の企業価値向上に寄与するものと考えております。

2. 変更の内容
 (変更前)

具体的な用途	金額(百万円)	支出予定時期
M & A及び資本業務提携に関わる費用	7,590	2019年10月～2022年10月
ナレッジの共有及び強化を目的とする研修施設の建設資金	3,000	2019年12月～2022年3月

(変更後)

具体的な用途	金額(百万円)	支出予定時期
M & A及び資本業務提携に関わる費用	(注1)(注2) 7,076	2019年10月～2022年10月
物流センターの移転に係る機械装置等の購入及び設置費用	4,054	2021年9月～2022年3月

(注1) M & A及び資本業務提携に関わる費用につきましては、一部の資金を2021年4月20日付「株式会社フォースメディアの株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」にて開示しました通り、株式会社フォースメディアの株式取得費用に充当しております。

(注2) 新株予約権の発行に伴う手取り額は当初10,590百万円を想定しておりましたが、11,130百万円となりました。今回の資金用途変更之际して、M & A及び資本業務提携に関わる費用を変更しておりますが、今後も企業価値向上に資する案件については、本件の調達費用に関わらず検討して参ります。なお、調達額から不足する部分については、自己資金を充当する予定です。

3. 新物流センターの概要

(1) 新物流センターの概要・投資額について

所在地	兵庫県川辺郡猪名川町
物流センターの名称	プロロジスパーク猪名川2(賃貸借契約)
資産の内容	機械装置等
延べ床面積	9,882坪
設備投資予定額	4,054百万円

(2) 新物流センターの賃借の相手先の概要

名称	蔵王特定目的会社
所在地	東京都千代田区丸の内2丁目7番3号
代表者	取締役 稲田 秀
事業内容	資産の流動化に関する法律に基づく資産の流動化に関する計画に従った特定資産の譲受け並びにその管理及び処分にかかる業務 その他上記特定資産の流動化に係る業務に付帯関連する一切の業務
資本金の額	100百万円
設立年月日	2007年4月25日
当社との関係	資本関係、人的関係、取引関係はございません。また、当社の関連当事者にも該当致しません。

(3) 新物流センターの投資及び稼働開始予定

竣工	2021年9月頃
本格稼働予定	2022年4月頃